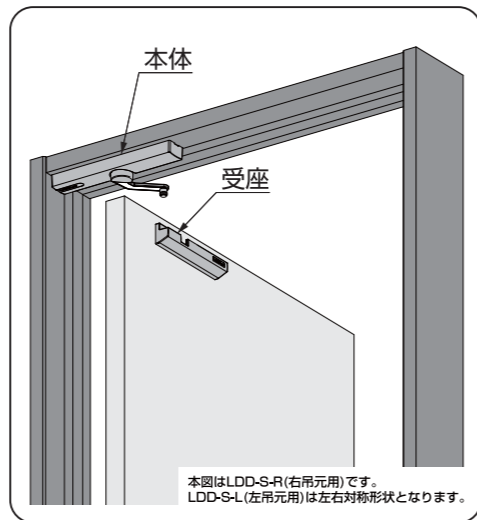


# LAMP® LDD-S® ラブコンダダンパー (面付けタイプ) 取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 取り付け前に本説明書をよくお読みの上、正しく施工いただけますようお願いいたします。お読みになった後、本説明書はお使いになられる方がいつでも見られる場所に保管してください。

- ・本説明書の製品内容は、部品としての品質範囲です。本製品を使用した最終製品の機能・性能・安全性を保証するものではありません。
- ・製品については万全を期しておりますが、万一不良品があった場合、ご購入先へお問い合わせください。
- ・保証期間は、弊社納品書発行日から1年以内とさせていただきます。良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。
- ・製品改良などにより、予告なく寸法、材料などの仕様変更をおこなう場合があります。念のため現品にてご確認ください。

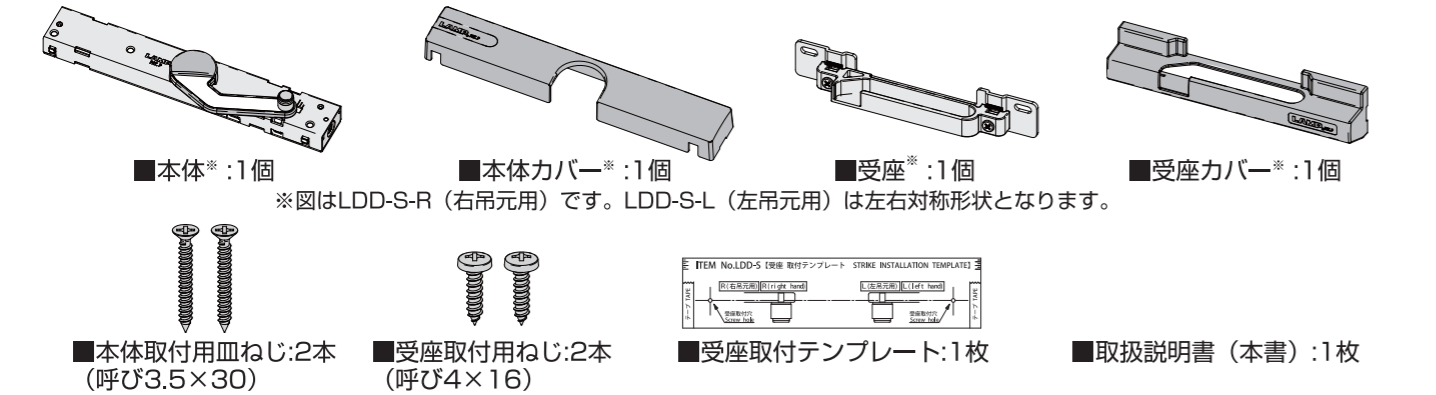


- ### 注意
- ・本製品は屋内用です。直接雨や雪がかかる場所での使用はおやめください。
  - ・本製品は指挟みを防止する為の製品ではありません。ドアと枠の間に指などを入れますと怪我をしますのでおやめください。
  - ・インパクトドライバーは使用しないでください。故障及び破損の原因となります。
  - ・強風下ではダンパー効果が低下しますので、強風下での使用はおやめください。
  - ・ご使用中にアームに物を掛けたり、ドアダンパーの取り付けや取り外し、調整をする際にアームに無理な負荷を掛けしないでください。アームが破損する原因となります。
  - ・ドアを必要以上に強く閉めるなど、無理なドアの開閉はおやめください。故障の原因となります。
  - ・ご使用になるヒンジやラッチによっては、動きが悪くなったり、ドアが閉まりきらない場合があります。
  - ・ご使用になる環境によっては、閉止速度やダンパー力が変化したり、ドアが閉まりきらない場合があります。
  - ・ご使用中も定期的に各ねじの緩みや脱落等がないか確認いただき、増し締めをおこなってください。
  - ・各カバーの表面が汚れた時は、水をふくませたやわらかい布を固く絞り、汚れを軽く拭き取ってください。薬品等を使用しますと変色したり、割れたりしますのでおやめください。
  - ・本製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。温度変化によりドアの閉止速度が変化しますが、故障ではありません。

## 特長

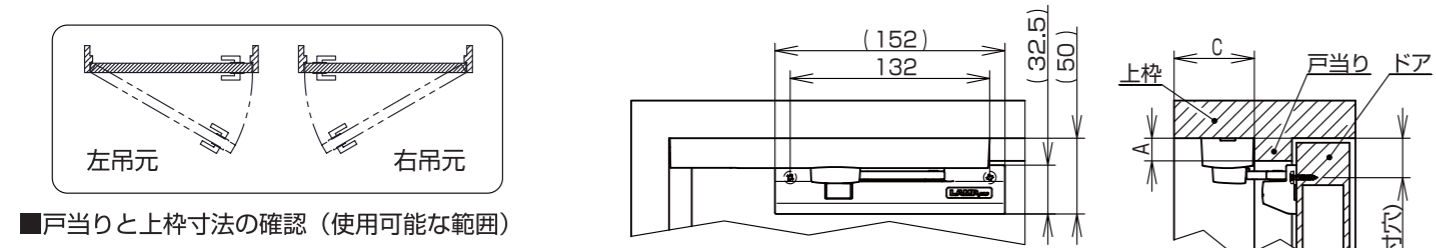
- ・本製品は面付けタイプの開き戸用ドアダンパーです。
- ・ダンパー機能により、ドアの「バタン」という衝撃音をやわらげ、閉じ際からゆっくりと閉まります。
- ・戸当たりとたて枠にピッタリ寄せて取り付けだけの簡単取り付けです。(上枠の幅によっては、たて枠から離して取り付けいただく場合がございます)
- ・ドアの閉止力調整機能付きです。
- ・受座は上下、左右位置調整機能付きです。

## 製品内容



## 取り付け前の確認

- ### ■ドア吊元方向の確認
- ・ドアを引いて開く側からみて、右側に吊元がある。⇒LDD-S-R(右吊元用)をご使用ください。
  - ・ドアを引いて開く側からみて、左側に吊元がある。⇒LDD-S-L(左吊元用)をご使用ください。

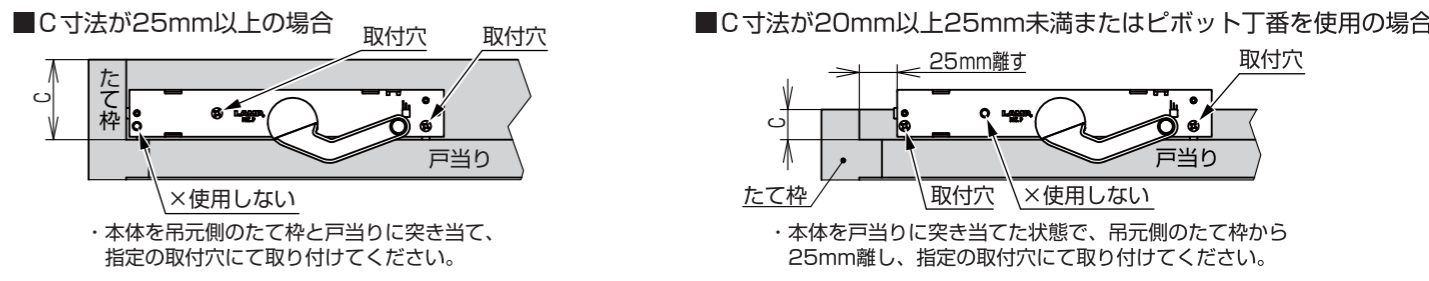


- ### ■戸当たりと上枠寸法の確認 (使用可能な範囲)
- A 戸当たり高さ: 15mm以下  
 B ドア裏面から戸当たり端面まで: 23mm~35mm (戸当たり+パッキン厚)  
 C 上枠取付幅: 20mm以上

- ### ■適応ドア仕様
- ・ドア質量: 15kg~40kg
  - ・ドア幅: 900mm以下
- ### ■吊元丁番
- ・一軸丁番 (D寸法が60mm以下)
  - ・隠し丁番
  - ・ピボット丁番 (中心吊りのピボット丁番は使用不可)    一軸丁番の軸心
- ※上記寸法以外の取り付けに関しては、弊社までお問い合わせください。

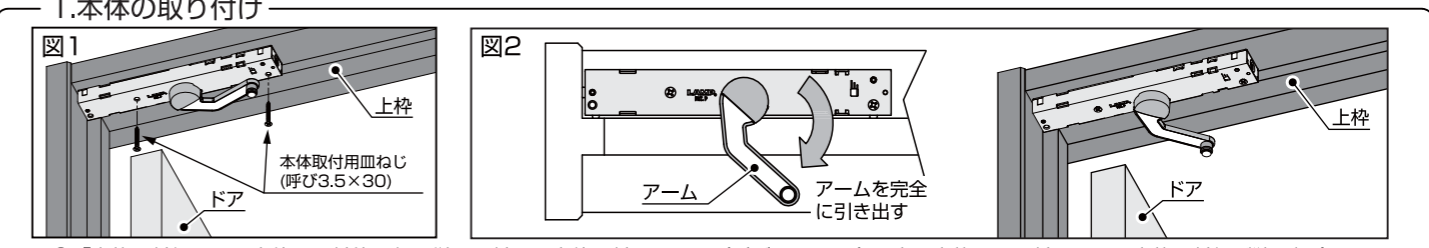
LDD-S-R 取付図(LDD-S-Lは左右対称となります)

## 上枠取付幅(C寸法)および使用丁番による本体の取付位置 ※図はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L(左吊元用)は左右対称となります。



## 取付手順 ※図はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L(左吊元用)は左右対称となります。

※本製品の取り付けは、ドアや枠の建て付け調整後におこなってください。



- ### 2. 受座の取り付け
- 
- ③ アームが引き出した位置からずれないように、アームをおさえながらドアをゆっくりと閉め、アームの先端と付属の受座取付テンプレートの四角穴をあわせてください。(図3)
- ④ ドアの上端面と受座取付テンプレートが平行になるよう調整し、受座取付テンプレートの2箇所の取付穴に印を付けてから下穴をあけてください。その際、受座取付テンプレートをマスキングテープ等で仮固定すると作業が容易に行えます。
- ⑤ 受座を付属の受座取付用ねじ(呼び4×16) 2本でドアに取り付けます。(図4)
- ⑥ アームが完全に引き出されているのを確認し(図5)、アームがずれないようにおさえながらドアをゆっくりと閉め、アームのローラーが受座のガイド溝に入るかどうかご確認ください。(図6)
- ⑦ ローラーとガイド溝とのすき間が図7の範囲に入っていない場合は、受座の上下・左右位置調整を行ってください。その際アームがずれないように注意してください。(詳細は、「3.受座の調整」をご参照ください)
- ⑧ ドアをゆっくりと開閉し、正常に作動することをご確認ください。正常に作動しない場合は再度、受座の位置調整を行ってください。

- ### 3. 受座の調整
- 
- ① ローラーが受座のガイド溝に入らない場合 ⇒受座の上下・左右調整をしてください。
- ② ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合 ⇒受座の左右調整で吊元方向に移動して下さい。
- ### 4. 閉止力の調整
- 
- ① 閉止力が弱い場合 (ドアが閉まりきらない場合等) ⇒本体の閉止力調整ねじで閉止力を調整してください。 ※ご使用になるヒンジやラッチによっては、調整してもドアが閉まりきらない場合があります。

- ### 5. カバーの取り付け
- 
- ① ドアを開いた状態で、本体カバー、受座カバーを取り付けます。
- カバーの取り外し方法 (本体カバー、受座カバー)  
 ドアを開けた状態で、カバーの凹部にマイナスドライバー等を差し込み、矢印の方向に引き出してください。反対側はつまんで両側均等に少しずつ取り出してください。  
 ※ドアにキズをつけないよう慎重に作業をおこなってください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 03(3864)1122  
 受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)  
 FAX 03(3863)6875  
 E-mail: support@sugatsune.co.jp  
 東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

